

安全・安心な学校へ向けて

平成23年度学校給食・保健・安全優良学校等表彰式が1月31日(火)、愛媛県庁で行われ、県内の小中学校・高等学校など17の施設と栄養教諭ら4人が表彰されました。

今回、大洲市からは次の3つの施設と1個人が表彰されました。

【学校給食優良学校等】

◇河辺学校給食センター

地域の生産者の協力を得て、季節行事や学校行事に配慮した旬の地場産物を用いた献立を作るなど、地域との連携を図ったことが評価されました。

【学校給食功労者】

◇学校栄養職員 二宮洋子（よちこ）

（大洲市立平小学校）

長年、学校給食の運営に携わり、学校給食の地産地消推進および地元産品の活用率向上に貢献していることが評価されました。

【学校保健優良学校】

◇平野小学校

「いころっこ生活チェック」という、子ども一人ひとりの生活状況および健康状況に目を向ける体制づくりや、子どもの目線に立った「こころの教育」を学校全体で推進し、子どもたちが生き生きと

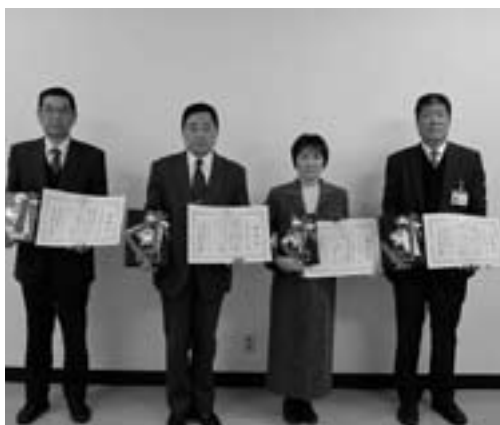
学校生活を送れるよう、努めていることが評価されました。

【学校安全優良学校】

◇河辺中学校

家庭・地域と連携した環境整備などを通して、危険か所の早期発見に努めたり、学校への関心を高めたりするなど、学校・家庭・地域の危機管理意識の高揚に努め、成果を上げてきたことが評価されました。

大洲市では、平成21年度に喜多小学校が「学校安全優良校」として表彰を受けていますが、4つの全ての部門で表彰を受けるのは、初めてのことです。今回表彰を受けた施設だけでなく、今後も市全体で安心できる学校づくりに取り組んでいきます。



平成23年度大洲市人権・同和教育研究大会



を招き、体験談を聞くなどした、地区内での活動を報告しました。各分科会に参加したみなさんは、発表される実践報告に真剣に耳を傾けていました。

午後の全体会では、廣中邦充氏（くにちか）（浄土宗・西居院住職、教育評論家）を講師に、「AGAIN IN であいふたたび」と題した講演が行われ、悩みを抱える子どもたちとの共同生活で感じたことを、力感あふれる語りで伝えていました。

大洲市では、大洲市人権尊重のまちづくり条例を制定し、人権尊重の社会的環境づくりに努めています。

平成23年度大洲市人権・同和教育研究大会が2月17日(金)、国立大洲青少年交流の家で行われました。

総勢315人が参加した本研究大会は、「差別の現実から深く学ぶ」ことを基本理念とし、市内各地の教育実践の交流を通して、今後の人権・同和教育の推進と差別解消を目指しています。

午前中は就学前教育、学校教育、社会教育、職場と行政の4つの分科会に分かれて、9人の代表者による実践報告を基に、活発な意見交換が行われました。

白滝地区人権教育協議会では、被災地支援に参加した大洲市職員





2/4(土)

地域で人権を考える ～平成23年度今坊公民館・友愛館大会～

「ぬくもりのある地域づくりを目指して」をテーマに、平成23年度今坊公民館・友愛館大会が今坊教育集会所で開催されました。

地元の小中学生による人権標語・人権作文の発表や人権作品の展示、また道休明美さん(八幡浜市教育委員会 社会教育指導員)を講師に迎えて、人権について学びました。道休さんは、「童謡から見える人権」を演題に、幼い頃に口ずさんだ童謡を歌いながら、作者が詩に託した思いやメッセージを伝えていました。

この大会は、住民一人ひとりが人権意識の高揚を図り、お互いの人権を尊重する活動を定着化し、実現することを目的に毎年開催しています。



童謡を通して人権を語る道休さん

河辺の魅力を再発見 ～河辺観光フォトコンテスト審査～

2/14(火)



今年も力作がそろいました

大洲市観光協会河辺支部の主催により、3回目となるフォトコンテストが開催されました。今回は、「河辺観光フォトコンテスト」と題し、河辺町内で開催されているイベントや屋根付き橋などの観光施設、自然などの写真を募集しました。県内をはじめ、遠いところでは神奈川県鎌倉市在住の人からも募集があり、野趣あふれる作品が集まりました。

どの作品も力作で、選定を行う審査員も苦勞していましたが、応募作品の中から9点の入賞作品が決まりました。

今回のフォトコンテストは、昨年の6月から今年の1月までに撮影された写真の審査で、季節感あふれる河辺の魅力を再発見できました。

2/19(日)

災害に備えて ～肱川中央自治会防災訓練～

防災意識が高まる中、肱川町の肱川中央自治会では、「いざ」という時に備えようと、中野小学校で防災訓練を行いました。

午前中は、親子で空き缶と牛乳パックを使って炊飯体験を行いました。悪戦苦闘しながらも上手に炊き上がり、自治会が用意した豚汁と一緒に昼食をとりました。

午後からはさらに多くの住民が参加し、大洲消防署職員を講師に招いて、地震体験車や煙体験ハウス、AEDの使用法、負傷者の搬送の仕方などを学びました。

雪が降り、大変寒い1日となりましたが、参加したみなさんは真剣に取り組み、災害時の心構えを学んでいました。



水消火器を体験する子どもたち

【がんばる市内企業の事業活動や事業展開を紹介します】

養老酒造株式会社

～お客様目線を大切に～

酒造りは、一般的に11月～3月に行われますが、弊社での酒造りは、特に空気中に雑菌の少ない1月～3月の期間に行っています。酒造行程の中で特に重要となる酒蔵の掃除や滅菌処理など、衛生面には細心の注意を払っています。酒の味を左右する重要な酵母菌は、温度変化に敏感な生物で、1度以上の変化を嫌います。発酵状態を維持することは非常に大変ですが、おいしい酒を造るためには欠かせない行程なので、いつも気が抜けません。寒暖差が激しい場合には、酒が入っているタンクの回りにマットを巻くなど、温度調節を行うこともあります。

◇所在地 大洲市肱川町山鳥坂
◇電話 34-2352

がんばる大洲企業

弊社は、各地にあった小さな酒蔵を一つに統合して、大正10年に創業しました。現在は、市内の酒屋をはじめ、東京や名古屋など全国各地のお客様に販売しています。

最近では、ノンアルコール飲料の台頭や消費者の酒離れなどで、酒造業界は厳しい状況下にあります。弊社では酒だけではなく、酒を成分としたゼリーを商品として開発しました。新商品の開発は今後、他の会社と競り合っていく上でも重要な経営戦略だと考えています。

弊社では、お客様の目線をととても大切にしています。どんな場面でも、どのように飲んでいただくかを考え取り組んでいます。酒の味は、造られる地域によってさまざまです。個性がよく表れます。お客様には弊社の酒を通して、大洲の素晴らしさを知っていただきたいと思っています。



文化財



ようやまの山のサクラ
愛媛県指定天然記念物
個人所有

このサクラは、河辺地域の標高540mに位置する北平地区にあり、地元では「御所桜」と呼ばれています。品種はエドヒガンで、彼岸のころに咲くことから、この名前が付けられました。

このサクラの推定樹齢は400年にもなることから、幹に空洞が目立つほか、根元近くでは腐朽が進んでいますが、毎年4月上旬には淡いピンク色の美しい花を咲かせています。

現在、地元ではこのサクラを守るため、幹を支える木製の支柱を設置するとともに、衰えた根に若いサクラの根を接ぐ「根接ぎ若返り法」に取り組むなど、樹勢を回復させる活動を続けています。

(昭和54年9月14日指定)

野鳥



ニューナイスズメ
(入内雀)
スズメ目ハタオリドリ科
全長14cm

秋に北日本から渡ってくる、スズメの仲間です。やって来た頃は、東大洲の田んぼ沿いの電線に、数百羽の大群で数珠つなぎに止まっているのを見ることができですが、越冬中は少数で行動しているようです。またスズメに混じっていることもあり、身近に観察もできますが、スズメのように人家の屋根に来るようなことはありません。桜のつぼみが膨らむ頃、オスは頭部をひときわオレンジ色にお化粧して、北へ帰る準備をします。厳しい冬期は暖かい地方に移動し、気候が良くなると生まれた場所に帰り、一生懸命に命の営みを続けている彼らを見ていると、「命のつながり」のお手本のような気がします。

NPO法人かわうそ復活プロジェクト⑤

¡Hola! (こんにちは。)

活動を始めてから、早くも7か月が経ちました。今回は、私の日々の活動について紹介します。

私は小学校で算数の先生として働いています。同僚の先生とのコミュニケーションですが、自分が考えていることはスペイン語で伝えられるようになりました。しかし、問題は聴き取り。会話の中で、“Perdón (え、何ですか?)”と聞き返すことは日常茶飯事です。それでも嫌な顔をする^{ベルドン}ことなく、繰り返し説明してくださる先生たちには、本当に感謝しています。

活動の内容に関しては、最近、その幅が広がってきました。これまでは、先生が授業をする際の補佐が中心でしたが、1月の休暇中は補習で2年生のクラスを受け持ちました。

また、同僚の先生から「あなたの授業を見せて」と言われることも。

そんな私の活動の様子を、ある日の日記から紹介したいと思います。

補習でかけ算について教える際、九九カードを使ったゲームを取り入れた。

“遊びながら学ぶ”という経験の少ない児童たちに、このゲームは好評だった。



同僚の先生たち



好評?だった九九のゲーム

明日もこのゲームを用いて、児童が楽しく九九を学べたらと思う。(1月26日)

昨日好評だった九九のゲームを今日も実施。しかし、九九が得意な児童が続けてカードを獲得したり、「九九が苦手だからやりたくない」という児童が出てしまった。

どうすれば良いのだろうか…? (1月27日)

まだまだうまくいくことよりも、失敗してしまうことの方が多い気がします。でも、優しい先生たちの気遣い、児童の笑顔に助けられて日々頑張っています。

¡Hasta pronto! (それでは、また。)

大洲市消費生活 センター通信

必ずもうかる! そのような勧誘を受けていませんか?

今回は「劇場型勧誘」について、ご紹介いたします。

【劇場型って?】



ケースもあります。

当センターでも劇場型勧誘を受けたという声が多く聞かれるようになりました。

【被害にあわないために】

「あなただけがもうかる、絶対にもうかる」というような、うまい話はありませぬ。

お金を振り込んでしまうと、事業者と連絡が取れなくなることもあり、少しくも不安に思ったら、お金を振り込む前に消費生活センターへご相談ください。

【問い合わせ先】

大洲市消費生活センター

(商工観光課内)

☎ 01790 (直通)

【相談受付時間】

午前9時～正午

午後1時～5時

月曜日～金曜日

(祝祭日を除く。)

★センタークイズ★

2010年に全国の消費生活センターに寄せられた未公開株、社債の相談で、相談者が支払った合計額は

①3億円②50億円

③280億円

正解は11ページにあります。